

☆お母さんの論文☆

ある懸賞論文の37歳のお母さんの作品にまつわるお話を紹介させていただきます。この方のお子さんは、足が不自由な方でしたが、車椅子で小学校に通った六年間、お父さんお母さんは一度として車椅子を押されたことがなかったそうです。近所の子供たちが当番を決めて、六年間ずっと送り迎えをしてくれました。そして、中学に入るとき、一緒に普通の中学校に行けると思ったら、教育委員会からの「お宅のお子さんは施設に入れて下さい」という指示がきたのです。そのとき、友達が猛反発をしました。署名運動までして、中学校の校長先生を動かして、同じ中学校に通うことができました。三年間また当番を決めて友達が送り迎えをしてくれました。そして、小松さんの息子さんは体が弱いから欠席も多かったけれども、なんとか卒業までこぎつけました。ところが、風邪をひいて、晴れの卒業式に出られなくなってしまいました。そのときに「お母さん、小学校六年間、中学校を三年間支えてくれた友達に、僕、お礼が言いたい」と言って、朝、ベランダに出て卒業式に行く友達を見送りました。みんなが手を振って、「お前の分までがんばってくるからな」と言って、卒業式に行きました。お父さんが早く帰って来て、家で親子三人で卒業のお祝いをする約束でした。昼ご飯ときにチャイムが鳴ったから、お母さんは、お父さんが早く帰って来たと思って飛んで行かれた。そしたら、そこに立っておられたのは卒業証書を持った校長先生と各学年の先生方と友達でした。そして校長先生が「今から、お宅のお子さんの部屋で卒業式をしたいと思います、よろしいでしょうか」とおっしゃいました。車椅子の息子さんとお母さんを前にして校長先生が卒業証書を読まれ、各学年の先生たちが「よくがんばったね」と握手をしてくれました。友達が拍手で祝福してくれたときには、息子さんはうつむいて涙を流していました。「私たちは、先生や友達の顔をまともに見ることはできませんでした。息子は三年間中学校で何を学んだかわかりませんが、優しさが人をすばらしい人間に変えていくということを学んでくれたから、それだけで十分です。学校で習った勉強よりも、もっとすばらしいものをうちの子供は学んだ気がします。」と論文に書かれていました。と、その懸賞論文の中に書いておられました。

FootMarkLetter



☆夏の感染症☆

楽しいプール遊びも始まりましたが、この季節は子どもたちが病気になりやすい季節であるとも言えます。子どもの様子を注意深く見つめて早めの対応をお願いします。

第二種の伝染病

プール熱(咽頭結膜熱)

潜伏期間…1週間前後

感染経路…飛沫感染です。夏かぜのひとつで、プールを介して感染することも多いので「プール熱」と言われています。

登園基準…発熱、咽頭炎、結膜炎などの症状が消えてから、2日経過するまで出席停止です。

主な症状

39℃前後の高熱が4・5日続き、のどの痛み、せき、目やにや目の充血があります。さらに頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。

その他の伝染病(出席停止の必要があるもの)

手足口病

潜伏期間…3～6日

感染経路…飛沫感染です。排せつされた便から感染することもあります。

登園基準…医師の判断によります。糞便のみからウイルスが排せつされている場合は、一般的な予防方法を行えば、登園は可能です。

主な症状

夏かぜのひとつで、めったに合併症もなく、比較的軽い症状の病気です。初期は、指、手のひら、足の裏、唇やほおの内側、舌などに白い水疱状の発疹が出ます。熱はあまり高くなることはありません。しだいに水疱の発疹がおしりやひざに出ることもあります。水疱が破れ潰瘍となり、2～3日で炎症は治まります。水疱は茶色くなり、発病から1週間ほどで消えます。園では、うがい・手洗いをして予防をしましょう。

その他の伝染病(出席停止の必要があるもの)

ヘルパンギーナ

潜伏期間…2～4日

感染経路…経口・飛沫感染です。

登園基準…医師の判断によります。糞便のみからウイルスが排せつされている場合は、一般的な予防方法を行えば、登園は可能です。

主な症状

乳幼児の間で流行する夏かぜの一種です。39℃前後の高熱が2・3日続き、のどの奥に小さな水疱ができるため食欲が落ち、吐くこともあります。2・3日で水疱がつぶれて痛みが増し、つばを飲み込むのでさえ痛がります。よだれが多くなることもあります。およそ一週間で水疱は治まってきます。高熱が出た時点で医師の診断を受けましょう。園では、うがい・手洗いを怠らないで予防をしましょう。

第三種の伝染病

はやり目(流行性角結膜炎)

潜伏期間…1週間前後

感染経路…プールの水、手指、タオルなどを介して接触感染します。

登園基準…医師が伝染の恐れがないと認めるまで出席停止です。

主な症状

伝染性の角膜炎と結膜炎が合併する目の伝染病です。白目が赤く充血しますが、目やには少なく、涙を流したりします。プールで感染することが多いようです。園では目に触れるものの貸し借りや共用はしないように気をつけましょう。プールの一時的な閉鎖も必要とすることがあります。目の充血している子どもが見られたら、こすらないようにし、早めに医師の診断を受けましょう。2～3週間で治ります。

行事予定

- 1 (水) プール開き
- 7 (火) 七夕祝い
- 9 (木) 身体測定 (3～5 歳児)
- 10 (金) 身体測定 (0～2 歳児)
- 15 (水) 音楽会リハーサル (南公会堂)
- 17 (金) 祖父母参観
- 21 (火) 避難訓練 (地震・火災)
- 25 (土) 音楽会 (南公会堂)
- 29 (水) 誕生会

☆職員研修☆

- 3 (木) 区主催看護師 (河村)
- 7 (火) 発達過程 (4 歳児) (板倉)
- 10 (金) 食物アレルギー対応 (古賀) 児童虐待対応 (中村)
- 13 (月) 保育環境構築 (木村)
- 14 (火) 発達過程 (5 歳児) (原口)
- 15 (水) 発達障害対応 (板倉)
- 16 (木) 体育指導 (中村)
- 29 (水) ～30 (木) 幼保小連携 (原口)

☆横浜市の指導監査がありました☆

国、横浜市より委託を受けて保育を実施している認可保育所では、適正な運営が行われているか、子どもの不利益になるような保育が行われていないか、給食の提供状況は子どもの発達を捕捉できているか等を確認、指導するために市の指導監査を受ける義務があり、6月22日に実施されました。二年ぶりでしたが運営、会計、保育、栄養、給食それぞれ専門の方から確認いただきました。会計処理の部分で一部アドバイスをいただきましたが、その他の分野においてはよくなされている旨の講評がありました。身を引き締めながら継続して運営してまいります。